

標 題 : Adherence to the Mediterranean diet and lymphoma risk in the
European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition
「がんと栄養に関するヨーロッパ追跡研究」における
地中海食事の順守とリンパ腫リスク

著 者 : M. Solans, et al. (スペイン Epidemiología y Salud Pública (CIBERESP)
Centro de Investigación Biomédica en Red)

掲 載 誌 : Int. J. Cancer. 2018 Dec 26. [発行に先立つ電子出版]
[冊子版(改訂)は同誌 2019 Jul 1; 145(1): 122-131.]

要 旨 :

がんに対する地中海食事の予防的役割の証拠が増加している。
しかし、リンパ腫に対するその影響を調べた追跡研究はまだない。
我々は「がんと栄養に関するヨーロッパ追跡研究(EPIC)」で、地中海食事の
順守とリンパ腫およびそのサブタイプのリスクとの間の関連を評価した。
解析は、1991 から 2001 年の間にヨーロッパ 10 カ国から募集した被験者
476,160 人を収録した。
地中海食事の順守を「適合・相対地中海食事(arMED)」スコアでアルコールを
除外して推計した。
潜在交絡因子を調整しながら、Cox 比例ハザード回帰モデルを使用した。
平均追跡期間 13.9 年の間に、3,136 件のリンパ腫 (135 件はホジキンリンパ腫
(HL)、2,606 件は非ホジキンリンパ腫、そして 395 件は特定不能のリンパ腫) が
確認された。
全体として、arMED スコアの 1 点上昇は 2%低いリンパ腫のリスクと関連し
(95%信頼区間(CI) : 0.97-1.00、p-動向=0.03)、統計的に有意でない逆相関が
arMED スコアの高低とリンパ腫のリスクとの間に観察された(ハザード比 :
0.91(95%CI 0.80-1.03)、p-動向=0.12)。
リンパ腫サブタイプによる解析は、統計的に有意な関連を明らかにしなかった。
少数の症例(N=135)にもかかわらず、HL で示唆的な逆相関が見いだされた
(ハザード比の 1 点上昇=0.93(95%CI : 0.86-1.01)、p-動向=0.07)。
しかし、リンパ腫サブタイプに関する小さな効果量を検出する統計的な力を、
研究は欠いている可能性がある。
EPIC において arMED スコアの上昇はリンパ腫全体のリスクと逆相関したが、
サブタイプではしなかったと、我々の研究結果が示唆している。
これらの研究結果を確認するために、さらに大規模な追跡研究を必要とする。

この論文は著作権によって保護されている。著作権所有。

キーワード : ヨーロッパ、地中海食事、リンパ腫、追跡研究、リスク
